



安全データシート
IRABOND BC 50 HARDENER

項目1：化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品名 IRABOND BC 50 HARDENER

1.2. 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 硬化剤。

1.3. 安全データシートの供給者の詳細

供給者

ITW Performance Polymers
Bay 150
Shannon Industrial Estate
Co. Clare
Ireland
V14 DF82
353(61)771500
353(61)471285
mail@itwpp.com

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 +44 (0) 1235 239670

項目2：危険有害性の要約

2.1. 化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外

健康有害性 皮膚腐食性 区分1B - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 皮膚感作性 区分1 - H317

環境有害性 水生環境有害性、慢性毒性 区分2 - H411

2.2. ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

IRABOND BC 50 HARDENER

注意書き

P273 環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
 P303+P361+P353 皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
 皮膚を流水 / シャワーで洗うこと。
 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズ
 を着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P333+P313 皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断 / 手当てを受けること。

含有物

POLYETHYLENEPOLYAMINES, PENTAETHYLENEHEXAMINE

2.3. 他の危険有害性

この製品はPBTまたはvPvBに分類される物質を一切含まない。

項目3: 組成及び成分情報

3.2. 混合物

<p>POLYETHYLENEPOLYAMINES 10-30%</p> <p>CAS番号: —</p> <p>毒性乗数 (M) (急性) = 1 毒性乗数 (M) (慢性) = 1</p> <p>分類</p> <p>急性毒性 区分4 - H302 急性毒性 区分4 - H312 皮膚腐食性 区分1B - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 皮膚感作性 区分1 - H317 水生環境有害性、急性毒性 区分1 - H400 水生環境有害性、慢性毒性 区分1 - H410</p>
<p>3, 6, 9, 12 - テトラアザテトラデカン - 1, 14 - ジ イルジアミン 1-5%</p> <p>CAS番号: 4067-16-7</p> <p>毒性乗数 (M) (急性) = 1 毒性乗数 (M) (慢性) = 1</p> <p>分類</p> <p>皮膚腐食性 区分1B - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 皮膚感作性 区分1 - H317 水生環境有害性、急性毒性 区分1 - H400 水生環境有害性、慢性毒性 区分1 - H410</p>

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

項目4: 応急措置

4.1. 応急措置の説明

一般情報

皮膚および眼との接触を避ける。事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受ける (できればラベルを見せる)。

吸入

直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移すこと。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。

経口摂取

無理に吐かせないこと。多量の水を飲ませること。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。無理に吐かせないこと。直ちに医師の手当てを受けること。

IRABOND BC 50 HARDENER

皮膚接触 直ちに汚染された衣類を取り除き皮膚を石鹸と水で洗うこと。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。

眼接触 コンタクトレンズがあれば取り外し瞼を大きく広げること。少なくとも15分間洗い続けること。少なくとも15分間洗い続けること。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。

4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報 記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

4.3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 特定の推奨事項はない。懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。

項目5：火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤 泡消火剤、二酸化炭素または粉末消火剤で消火すること。

5.2. 化学品から生じる特定の危険有害性

特有の危険有害性 毒性のガスまたは蒸気。

5.3. 消火を行う者の保護

消火活動中の保護措置 火災ガスまたは蒸気の吸入を避けること。風上に向かいヒュームを避ける。火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。

消火を行う者を保護するための特別な保護具 陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。

項目6：漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 適切に換気すること。流出の近くでは喫煙、火花またはその他の着火源は厳禁。皮膚および眼との接触を避ける。この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を使用すること。

6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 排水管または水路あるいは地表への放出を防止すること。水路への流出または制御不能の放出は直ちに環境省またはその他の管轄規制組織に報告しなければならない。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 不燃性、吸収性の材料に流出物を吸収させること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。回収した流出物を入れた容器には必ず正確な内容物と危険有害性シンボルを標示しなければならない。

6.4. 他の項目の参照

他の項目の参照 この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること。

項目7：取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための予防措置

使用上の予防措置 換気のよい場所でのみ取り扱う。熱、火花および裸火から遠ざけること。皮膚および眼との接触を避ける。適切な換気および/または呼吸マスクを着用せずに密閉空間内で使用しないこと。製品使用中は、飲食及び喫煙してはならない。優良個人衛生手順を実行しなければならない。

7.2. 混触禁止物質を含む、安全な保管条件

IRABOND BC 50 HARDENER

保管上の予防措置 密閉した、元の容器に入れて乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。混蝕危険物質（セクション10を参照）から遠ざけて保管すること。

7.3. 特定最終用途

特定最終用途 この製品の意図された使用はセクション1で詳しく述べられている。

項目8：ばく露防止及び保護措置

成分に関する注釈 成分に対する暴露限界値は知られていない。

8.2. ばく露防止

保護具



適切な設備対策 適切な全体換気装置および局所排気装置を設けること。

眼 / 顔面の保護

リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡を着用しなければならない。次の保護具を着用しなければならない：化学物質飛沫ゴーグルまたは保護面。眼および顔面を適切に保護する個人用保護具を着用しなければならない。

手の保護

次の材料で作られた保護手袋を着用すること：ゴム（天然、ラテックス）。ネオプレン。ポリ塩化ビニル（PVC）。ニトリルゴム。選択される手袋は少なくとも8時間の破過時間を有していなければならない。手を化学物質から保護するために、化学物質に対する不浸透性および分解耐性が証明されている手袋を着用しなければならない。

その他の皮膚及び身体の保護 接触する場合にはエプロンまたは防護衣を着用すること。

衛生措置

洗眼ステーションおよび安全シャワーを設けること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。優良個人衛生手順を実行しなければならない。仕事場を離れる前に手と他の汚染された身体の部位を石鹸と水で洗うこと。製品使用中は、飲食及び喫煙してはならない。毎日作業場を出る前に作業服を交換すること。

呼吸器の保護

換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を必ず着用すること。呼吸マスクの選択は必ず暴露レベル、製品の危険有害性および選択した呼吸マスクの安全作業限界に基づいて行わなければならない。呼吸マスクが顔面に密着することおよびフィルタが定期的に交換されていることを点検すること。次のカートリッジを装着した呼吸マスクを着用すること：ガスフィルタ、タイプA2。意図した使用に適した交換可能な吸収缶を装備したハーフマスク式およびクォータマスク式の呼吸用保護具を使用しなければならない。意図した使用に適した交換可能な吸収缶を装備したフルフェイス式呼吸用保護具を使用しなければならない。

項目9：物理的及び化学的性質

9.1. 物理的及び化学的性質に関する情報

外観	液体。
色	琥珀色。
臭い	アンモニア臭。
pH	pH（濃厚溶液）：alkaline @ 20 °C
初留点及び沸騰範囲	100°C @
引火点	>100°C
蒸気圧	15mmHg @ °C
相対密度	1.03 @ 20 °C

IRABOND BC 50 HARDENER

溶解度	水に混和性。
自己発火温度	>150°C
粘度	51-100 mPa秒 @ 20°C
その他の情報	データ無し。

項目10：安定性及び反応性

反応性	酸。強酸化剤。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。
危険有害性反応危険性	データ無し。
避けるべき条件	化学物質の凝固点以上に保つ。
混触危険物質	次の物質との接触を避けること：酸。酸化剤。
危険有害な分解生成物	火災または高温は以下を生成する：含窒素ガス (NO _x)。次の物質の酸化物：一酸化炭素 (CO)。二酸化炭素 (CO ₂)。以下の蒸気/ガス/ヒューム：アンモニアまたはアミン。

項目11：有害性情報

11.1. 有害性情報

急性毒性 - 経口

急性経口毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 3,333.33

急性毒性 - 経皮

急性経皮毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 7,333.33

一般情報

腐食性。長期にわたり接触すると重篤な眼および組織の損傷を引き起こす。

皮膚接触

火傷を引き起こす。腐食性。長期にわたり接触すると重篤な組織損傷を引き起こす。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。敏感な個人に感作またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。

眼接触

この製品は強腐食性である。重度の火傷を引き起こす。即時の応急処置が必須である。

進入経路

吸入 摂取。皮膚吸収

項目12：環境影響情報

生態毒性 環境への放出を避ける。

毒性 水生生物に猛毒性がある。

12.2. 残留性・分解性

残留性・分解性 この製品の分解性についてのデータは無い。

12.3. 生体蓄積性

生体蓄積性 生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

12.4. 土壌中の移動性

IRABOND BC 50 HARDENER

移動性 排水管または水路あるいは地表へ放出しないこと。

12.6. 他の有害影響

他の有害影響 データ無し。

項目13：廃棄上の注意

13.1. 廃棄上の注意

一般情報 廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない。

廃棄方法 現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

廃棄物クラス 08 04 99

項目14：輸送上の注意

一般事項 その他の情報は知られていない。

14.1. 国連番号

国連番号 (道路輸送/鉄道輸送) 1760

国連番号 (IMDG) 1760

国連番号 (ICAO) 1760

14.2. 品名 (国連輸送名)

品名 (国連輸送名) (道路輸送/鉄道輸送) CORROSIVE LIQUID, N.O.S. (POLYETHYLENEPOLYAMINES (NOS), PENTAETHYLENEHEXAMINE)

品名 (国連輸送名) (IMDG) CORROSIVE LIQUID, N.O.S. (POLYETHYLENEPOLYAMINES (NOS), PENTAETHYLENEHEXAMINE)

品名 (国連輸送名) (ICAO) CORROSIVE LIQUID, N.O.S. (POLYETHYLENEPOLYAMINES (NOS), PENTAETHYLENEHEXAMINE)

14.3. 国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

道路輸送/鉄道輸送クラス 8

道路輸送/鉄道輸送ラベル 8

IMDGクラス 8

ICAOクラス / 区分 8

輸送ラベル



14.4. 容器等級

道路輸送/鉄道輸送容器等級 III

IMDG容器等級 III

ICAO容器等級 III

14.5. 海洋汚染物質

IRABOND BC 50 HARDENER

環境有害物質 / 海洋汚染物質



14.6. 使用者のための特別予防措置

非常措置指針 (EmS) F-A, S-B

危険物識別番号 (道路輸送/鉄道輸送) 80

MARPOL73/78 附属書II及び IBCコードによるばら積み輸送 情報は要求されていない。

項目15 : 適用法令

項目16 : その他の情報

改訂日付 2018/04/04

改訂版 5

破棄日付 2016/04/29

SDS番号 20662

危険有害性情報の全文 H302 飲み込むと有害。
 H312 皮膚に接触すると有害。
 H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 H318 重篤な眼の損傷。
 H400 水生生物に非常に強い毒性。
 H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
 H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明を行うものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。